

令和4年度第3回島田市立図書館協議会 次第

日 時：令和4年11月15日（火）午後7時～

会 場：会議棟 D会議室

1 開 会

2 あいさつ（協議会会長、図書館課長）

3 会 議

議題1 令和4年度島田市立図書館利用状況について

議題2 令和4年度島田市立図書館事業中間報告について

議題3 安城市図書情報館（愛知県安城市）視察報告について

4 その他

5 閉 会

令和4年度 島田市立図書館利用状況（4月～9月）

①令和4年度利用者数及び貸出点数

※利用者数は延べ人数

区分	利用者数（4月～9月）						貸出点数（4月～9月）					
	令和4年度	令和3年度	前年比較		目標	達成率	令和4年度	令和3年度	前年比較		目標	達成率
			増減	前年比					増減	前年比		
島田図書館	50,155	57,168	△ 7,013	87.73%	112,200	44.70%	173,657	182,739	△ 9,082	95.03%	355,200	48.89%
金谷図書館	17,056	18,147	△ 1,091	93.99%	34,000	50.16%	57,580	63,403	△ 5,823	90.82%	120,100	47.94%
川根図書館	4,948	5,140	△ 192	96.26%	9,900	49.98%	12,852	13,935	△ 1,083	92.23%	26,700	48.13%
初倉公民館	1,242	1,097	145	113.22%	2,150	57.77%	4,669	4,307	362	108.40%	8,450	55.25%
六合公民館	2,010	1,913	97	105.07%	3,520	57.10%	8,006	7,596	410	105.40%	13,800	58.01%
北部ふれあいセンター	325	312	13	104.17%	550	59.09%	1,430	1,644	△ 214	86.98%	2,750	52.00%
初倉西部ふれあいセンター	62	108	△ 46	57.41%	170	36.47%	194	326	△ 132	59.51%	600	32.33%
大津農村環境改善センター	243	204	39	119.12%	510	47.65%	1,277	1,015	262	125.81%	2,400	53.21%
計	76,041	84,089	△ 8,048	90.43%	163,000	46.65%	259,665	274,965	△ 15,300	94.44%	530,000	48.99%

②令和4年度年代別利用者数

区分	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大学一般	一般								計
	0～1歳	2～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上		
令和4年度	371	4,324	12,320	1,817	712	568	1,369	5,309	9,984	9,750	13,027	12,939	3,489	75,979	
令和3年度	240	4,803	13,327	1,901	793	853	1,397	7,388	12,030	10,631	14,288	13,061	3,269	83,981	
増減	131	△ 479	△ 1,007	△ 84	△ 81	△ 285	△ 28	△ 2,079	△ 2,046	△ 881	△ 1,261	△ 122	220	△ 8,002	
比較	154.58%	90.03%	92.44%	95.58%	89.79%	66.59%	98.00%	71.86%	82.99%	91.71%	91.17%	99.07%	106.73%	90.47%	

※初倉西部ふれあいセンターの利用者数は含まない。

③令和4年度年代別貸出点数

区分	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大学一般	一般								計
	0～1歳	2～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上		
令和4年度	1,819	24,792	50,080	5,728	1,960	1,607	4,796	20,954	34,019	26,058	37,295	39,422	10,941	259,471	
令和3年度	1,230	26,314	53,574	6,341	2,279	2,414	4,712	24,726	36,700	26,868	39,794	40,000	9,687	274,639	
増減	589	△ 1,522	△ 3,494	△ 613	△ 319	△ 807	84	△ 3,772	△ 2,681	△ 810	△ 2,499	△ 578	1,254	△ 15,168	
比較	147.89%	94.22%	93.48%	90.33%	86.00%	66.57%	101.78%	84.74%	92.69%	96.99%	93.72%	98.56%	112.95%	94.48%	

※初倉西部ふれあいセンターの貸出点数は含まない。

令和 4 年度島田市立図書館事業中間報告

1 読書週間関連事業

(1) こどもの読書週間 4月23日(土)～5月12日(木)

標語:「ひとみにキラキラ 本にどきどき」

市内の新1年生へ「図書館からのしょうたいじょう」を配布

◇島田図書館

①こどもの読書週間企画展 「自伝・伝記絵本」

期 間: 4月23日(土)～5月12日(木)

場 所: 3階児童書特集コーナー

内 容: 著名人の自伝、伝記絵本を特集展示

②しまだとしょかん「花さき山」【新規事業】

期 間: 5月10日(火)～

場 所: 3階児童フロア

対 象: 小学生以下

内 容: 絵本「花さき山」にちなみ、子ども達が誰かのために行った「優しいこと」を花形の用紙に書いてもらい、館内に展示。

◇金谷図書館

① こどもの読書週間企画展 「心がやさしくなる本」

期 間: 4月19日(火)～5月15日(日)

場 所: 児童特集コーナー

内 容: テーマに関連した児童書の特集展示

② クローバーカード

期 間: 4月23日(土)～5月15日(日)

対 象: 小学生以下

内 容: 金谷図書館に隠されたクローバーを探すイベント。普段足を運ばない書架を巡ることで新たな興味を引き出し、読書推進を図った。

◇川根図書館

①こどもの読書週間企画展 「名作をありがとう! エリック・カールさん」

期 間: 4月23日(土)～5月15日(日)

場 所: カウンター付近

内 容: テーマに関連した本の特集展示

2 児童サービス

(1) 紙芝居と絵本の読み聞かせ

≪島田図書館≫

(9月末現在)

曜日	グループ名	実施回数	参加人数
第1土曜日	島田おはなしの会	5回	42人
第2日曜日	大津お話の会	6回	52人
第2・4土曜日	山びこ親子読書会	12回	95人
第3土曜日	あすなる	5回	72人
第4土曜日	英語であそぼドクター KIDS	5回	44人
第1日曜日・第5土曜日	図書館職員	8回	101人
合計		41回	406人

≪金谷図書館≫

(9月末現在)

曜日	グループ名	実施回数	参加人数
第2土曜日	さくらんぼ	5回	79人
第4土曜日	図書館職員	5回	51人
第4日曜日	オオサキさん	4回	47人
合計		14回	177人

※オオサキさんのおはなし会は、6月から第1日曜日から第4日曜日に変更

≪川根図書館≫

(9月末現在)

曜日	グループ名	実施回数	参加人数
第3水曜日	たまごマザー	3回	21人
第4土曜日	図書館職員	5回	27人
合計		8回	48人

(2) ブックスタート事業

(9月末現在)

実施月	4月		5月		6月		7月		8月	
実施日	5日	12日	10日	17日	7日	14日	5日	12日	2日	9日
参加者	23人	29人	30人	33人	26人	26人	24人	31人	24人	18人

実施月	9月		4月～9月計
実施日	6日	13日	12回実施
参加者	16人	27人	307人

(3) おはなしギフト

《島田図書館》

(9月末現在)

施設名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
子育てふうせん(ゆたか保育園)	5月12日(木)	1回	15人	
ぐう・ちよき・ぱあ(島田第一中学校)	7月14日(木)	1回	40人	おはなしアラカルト
計		2回	55人	

《金谷図書館》

(9月末現在)

施設名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
子育て支援センターひよこ(五和保育園)	5月27日(金)	1回	28人	
子育て支援センターひよこ(五和保育園)	中止 9月30日(金)	0回	0人	おはなしアラカルト
計		1回	28人	

(4) おはなし宅配便

《島田図書館》

(9月末現在)

園名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
島田南幼稚園	5月17日(火)	2回	156人	
認定こども園 島田学園付属幼稚園	5月20日(金)	2回	88人	
島田北幼稚園	5月26日(木)	2回	62人	まめっちょ
認定こども園エルフのみらい	6月7日(火)	2回	90人	
大津保育園	6月9日(木)	2回	21人	おはなしアラカルト

ゆりかご保育所	6月15日(水)	1回	11人	
たけのこ保育園	6月16日(木)	1回	27人	まめっちょ
認定こども園伊久美保育園	6月22日(水)	1回	15人	
島田市立第三保育園	6月23日(木)	2回	58人	まめっちょ
みどり認定こども園	6月24日(金)	1回	56人	しろやま
島田市立第一保育園	8月9日(火)	2回	44人	
六合幼稚園	9月8日(木)	1回	91人	
こども発達支援センターふわり	9月15日(木)	1回	20人	まめっちょ
計		20回	739人	

《金谷図書館》

(9月末現在)

園名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
認定こども園五和保育園(年長児)	4月20日(水)	2回	60人	
金谷幼稚園	5月11日(水)	1回	8人	おはなしアラカルト
認定こども園五和保育園(年中児)	5月18日(水)	2回	60人	島田おはなしの会
認定こども園五和幼稚園	6月15日(水)	3回	92人	3回の内2回 島田おはなしの会
計		8回	220人	

(5) 学校朝読書会への職員派遣(川根図書館)

川根小学校朝読書会 (9月末現在)

実施日	5月19日	6月16日	7月14日	9月15日	9月22日	計
参加者	21人	18人	18人	31人	16人	104人

川根中学校朝読書会 (9月末現在)

実施日	7月13日	9月7日	計
参加者	22人	18人	40人

3 夏休みイベント

(1) 夏休み一日体験図書館員

《島田図書館》

実施日：7月28日（木）、29日（金）、8月3日（水）、4日（木） 計4回

参加者：各日2人 計8人

《金谷図書館》

実施日：8月3日（水）、5日（金） 計2回

参加者：各日2人 計4人

《川根図書館》

実施日：7月28日（木） 1回

参加者：2人

(2) 子ども映画会

《金谷図書館》

- ・みんなの納涼夏まつり映画会

実施日：7月24日（日）

場 所：金谷公民館みんなの

内 容：「トムとジェリー TOM and JERRY 第4巻」の上映

参加者：41人

- ・夏休み映画会

実施日：8月4日（木）

場 所：金谷公民館みんなの

内 容：「おしりたんてい第15巻」「ふしぎ駄菓子屋銭天堂第3巻」の上映

参加者：22人

(3) 「ほんのむし」カード

《3館共通》

実施期間：7月1日（金）～9月4日（日）

対 象：幼児から小学生まで

内 容：1日1回本を借りるごとにスタンプを押し、10個以上貯めた子供に景品
や認定証を渡し称揚した。（10個で景品、20個で認定証と景品）

実 績：参加者 1,208人（島田711人、金谷402人、川根95人）

景品配付者 134人（島田58人、金谷57人、川根19人）

認定証授与者 36人（島田12人、金谷16人、川根8人）

4 講座の開催

(1) 修理ボランティア講座

実施日：8月5日（金）、8月18日（木）、8月23日（火）

場 所：市役所会議棟

内 容：本の修理方法の習得
講 師：長野 将人氏
受講者：9人

(2) 書架整理ボランティア講座

実施日：令和4年9月28日(水)
場 所：島田図書館
内 容：図書館の本の並べ方の習得
講 師：島田図書館職員
受講者：13人

(3) 金谷図書館歴史講座

実施日：9月24日(土)
場 所：金谷公民館みんくる
講 師：矢澤 和宏氏
内 容：「信仰から見た大井川流域の歴史」
受講者：18人

(4) ママフィットネス講座

実施日：9月26日(月)
場 所：島田図書館
講 師：櫻井 ゆかり 氏
内 容：子育て中の母親を対象としたフィットネス講座と書架めぐりツアー
受講者：8人

5 体験学習・施設見学等の受入れ

(1) 勤労体験学習の受入れ

島田図書館

(9月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数
5月24日(火)・26日(木)	島田第一中学校	2年生	2人
計			2人

金谷図書館

(9月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数
5月24日(火)・26日(木)	島田第一中学校	2年生	2人
8月9日(火)～10日(水)	金谷中学校	2年生	2人
計			4人

(2) 施設見学の受け入れ

島田図書館

(9月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数
6月7日(火)	島田第二小学校	2年生	47人
6月8日(水)	島田第三小学校	2年生	45人
6月23日(木)	伊久美小学校	1～6年生	32人
6月29日(水)	伊太小学校	2年生	6人
7月8日(金)	大津小学校	2年生	27人
7月12日(火)	島田第二小学校	2年生	47人
7月14日(木)	島田実業高等専修学校	1・2年生	57人
9月6日(火)	島田実業高等専修学校	1・2年生	110人
9月21日(土)	六合東小学校	2年生	66人
計			437人

金谷図書館

実施日	学校名	学年	参加人数
6月29日(水) ～30日(木)	金谷小学校	2年生	90人
7月6日(水)	五和小学校	2年生	46人
計			136人

川根図書館(オリエンテーション)

実施日	学校名	学年	参加人数
4月20日(水)他	川根小学校	1～6年生	165人

(3) こどもわくワークの受け入れ

実施日：8月17日(水)・8月19日(金)

場 所：島田図書館

内 容：NPO 法人クロスメディアが実施している「こどもわくワーク」（小学生の職場体験）の受け入れ

人 数：4人

6 障害者読書支援

◇静岡福祉大学附属図書館相互協力協定事業

- ・所蔵本の相互貸借 静岡福祉大学附属図書館へ貸出 1冊
静岡福祉大学附属図書館から借受 0冊

◇マルチメディアデイジー図書

公益財団法人伊藤忠記念財団からマルチメディアデイジー図書4枚を各図書館で受入れ、全館で40種類のマルチメディアデイジー図書と活用術の本を所蔵

7 学校図書館支援事業

◇学校図書館支援

《島田図書館》

1校

《金谷図書館》

0校

《川根図書館》

1校

◇出前講座

《金谷図書館》

1校（家庭教育学級）

◇団体貸出

（9月末現在）

館名	貸出学校数（延べ）	貸出冊数
島田図書館	9校	473冊
金谷図書館	18校	321冊
川根図書館	4校	200冊
計	31校	994冊

8 読書通帳事業

(1) 読書通帳の交付

読書通帳交付冊数（事業開始時から）

区分	新規	継続	再交付	計
平成 24 年度	1,240 冊	6 冊	3 冊	1,249 冊
平成 25 年度	681 冊	140 冊	13 冊	834 冊
平成 26 年度	423 冊	192 冊	15 冊	630 冊
平成 27 年度	674 冊	240 冊	17 冊	931 冊
平成 28 年度	567 冊	224 冊	14 冊	805 冊
平成 29 年度	861 冊	262 冊	26 冊	1,149 冊
平成 30 年度	679 冊	289 冊	13 冊	981 冊
令和元年度	535 冊	270 冊	18 冊	823 冊
令和 2 年度	338 冊	213 冊	16 冊	567 冊
令和 3 年度	369 冊	244 冊	24 冊	637 冊
令和 4 年度（9 月末現在）	208 冊	125 冊	10 冊	343 冊
累計	6,575 冊	2,205 冊	169 冊	8,949 冊

9 雑誌スポンサー制度

実績（事業開始時から）

年度	スポンサー数	雑誌タイトル数
平成 23 年度	12 事業者	26 誌
平成 24 年度	19 事業者	38 誌
平成 25 年度	32 事業者	53 誌
平成 26 年度	36 事業者	57 誌
平成 27 年度	36 事業者	62 誌
平成 28 年度	37 事業者	68 誌
平成 29 年度	41 事業者	72 誌
平成 30 年度	45 事業者	72 誌
令和元年度	48 事業者	77 誌
令和 2 年度	49 事業者	79 誌

令和3年度	49 事業者	78 誌
令和4年度（9月末現在）	54 事業所	83 誌

10 その他の事業

（1）高齢者おはなし会（川根図書館）

実施日：毎月1回

場 所：ふれあい健康プラザ

内 容：来所者と会話しながら読み聞かせを実施する。

参加者：9月末現在 延 49 人

（2）川根図書館ボランティア

実施日：7月27日（水）

場 所：川根図書館

内 容：書架整理、YA（ヤングアダルト）コーナーのリニューアルなど。

参加者：川根中学校生徒 10 人

（3）金谷図書館展示コーナー

期間：令和4年4月2日（土）～令和5年3月31日（金）

内容：金谷図書館入口展示コーナーにて、市内在住の個人または市内の団体が作製した作品を展示し、展示内容は図書館のホームページやフェイスブックで広報する。また、展示内容に関連した本や資料を図書館で特集する。

展示団体数：9団体（9月末現在）

（4）島田図書館移転開館10周年記念事業

実施期間：9月～3月

内 容：・移転開館10周年を記念して、図書館オリジナルのしおりを配布した。

・島田・図書館友の会様に寄贈いただいた記念バックを抽選で350人に配布した。

・「帯まつり」の開催に合わせ大奴の人形を設置するなど館内の装飾を行った。

・ぬいぐるみのおとまり会の参加者数の増加や、本の帯まつりの表彰を行うなど例年開催している事業を拡大して実施予定。

実施場所：島田図書館

（5）島田市立図書館叢書「島田市年表 第四集・増補第五版」発行

島田市の記録として発行している「島田市年表」について、平成23年3月の「第四集・増補第四版」の発行から10年が経過していることから、島田図書館の移転開館10周年に合わせ、「第四集・増補第五版」を9月22日にデータ公開した。

11 10月以降に実施する主な事業

(1) 読書週間 10月27日(木)～11月9日(水)

標語「この一冊に、ありがとう」

《島田図書館》

◇企画展「図書館で割箸プロジェクト」

期 間：10月27日(木)～11月9日(水)

場 所：一般特集コーナー

内 容：公益財団法人静岡県グリーンバンクのイベント「図書館で割箸プロジェクト」
にちなみ、木に関する本を展示貸出

◇企画展「この一冊に、ありがとう」

期 間：10月21日(金)～11月9日(水)

場 所：3階 カウンター横ブックトラック

内 容：児童担当職員の思い出に残る児童書を集め、「ありがとう」の気持ちを込めて
展示貸出

◇おはなしマラソン

実施日：11月5日(土)

場 所：おび・りあ4階 多目的室

内 容：読み聞かせグループによるおはなし会

《金谷図書館》

◇企画展「鉄道開業150年」

期 間：10月13日(木)～12月20日(火)

場 所：一般特集コーナー

内 容：鉄道関連の本を集め、展示貸出

◇企画展「作家先生からお手紙です」

期 間：10月14日(金)～1月24日(火)

場 所：一般特集コーナー

内 容：作家自ら書いた紹介文と一緒に本を展示、貸出

◇企画展「身近な美術・芸術を楽しもう」

期 間：10月18日(火)～11月9日(水)

場 所：児童特集コーナー

内 容：美術・芸術に関する児童書を集め、展示貸出

◇どんぐりカード

実施日：10月27日(木)～11月13日(日)

場 所：児童コーナー

内 容：児童書架に隠された、どんぐりのイラストを探す。全部集めると、カウンタ
ーでスタンプをもらえる。

◇おはなしマラソン

実施日：11月6日(日)

場 所：金谷公民館みんくる2階 集会室
内 容：読み聞かせグループによるおはなし会

《川根図書館》

◇企画展「ことばや絵本でいっしょにあそぼ！（わらべうた・しりとり・ことばあそび）」

期 間：10月21日（金）11月9日（水）

場 所：カウンター前 特設コーナー

内 容：「ことばや絵本でいっしょにあそぼ！」をテーマに、コーナーの設置、読書週間ポスター掲示。

◇ハロウィン読書ビンゴ

期 間：10月1日（土）～10月30日（日）

内 容：川根小学校児童が、図書館又は学校図書館の本を借りたらハロウィンビンゴ用紙に1日1つシールを貼る。期間内にビンゴとなった児童にはプレゼント。

(2) ぬいぐるみの図書館おとまり会

実施日：11月19日（土）・20日（日）

場 所：島田図書館

内 容：子どもたちのお気に入りのぬいぐるみが図書館にお泊りし、図書館の中を探検したり、本を読んだりする様子を撮影して渡すことにより、図書館や本に関心を持ってもらうことを目的としたイベント。

参加者：3歳～小学校2年生までの子どもとその愛用のぬいぐるみ15組

※今年度は、島田図書館移転開館10周年記念事業の一つとして、募集人数を例年10組から増やした。

(3) 除籍本・雑誌の無料配布

《川根図書館》

実施日：11月19日（土）

場 所：川根図書館

《金谷図書館》

実施日：1月28日（土）・2月26日（日）

場 所：金谷図書館 ボランティア室

《島田図書館》

実施日：令和4年2月25日（土）

場 所：プラザおおるり 展示ホール

(4) 島田図書館文学講座

実施日：11月23日（水・祝）

場 所：島田図書館
講 師：月の輪熊八（服部 正美）氏
内 容：古典落語の世界
定 員：20人

(5) 川根図書館あかり展

実施日：11月26日（土）
場 所：川根図書館
内 容：夜の図書館に「あかりアート」を灯し、普段と違う雰囲気 of 図書館とする。

(6) ひみつカード

実施日：11月24日（木）～令和5年1月15日（日）（仮）
場 所：金谷図書館
対 象：小学生以下
内 容：本を借りたらひみつの絵の一部を渡し、集めて絵を完成させる。

(7) 川根小学校・川根図書館合同開催「ビブリオバトル in 川根小！」

実施日：12月9日（金）
場 所：川根図書館
内 容：川根小学校との共同企画として児童によるビブリオバトルを開催し、選ばれた本を川根図書館に展示する。

(8) すまいるタイム

実施日：12月19日（月）（仮）
場 所：島田図書館
内 容：島田市こども発達支援センターふわりの園児及び保護者に休館日の図書館を開放し、本の貸出やボランティアによる読み聞かせなど行う。

(9) 川根図書館子ども向け講座

実施日：2月頃（仮）
場 所：川根図書館
定 員：15人程度
講 師：村上 泰造氏（仮）
内 容：「楽しい！理科教室」（仮）

(10) 図書館福袋

実施日：令和5年1月5日（木）（なくなり次第終了）
場 所：島田図書館
内 容：1袋2冊、貸出は1人1袋まで。大人向け、中高生向け、子ども向けを用意
配布数：58袋（予定）

- (11) 図書館おみくじ
実施日：令和5年1月5日（木）・6日（金）
場 所：島田図書館、金谷図書館、川根図書館、川根支所、川根文化センター、
地域館（5館）
枚 数：1,550枚（予定）
- (12) 新春子ども映画会
実施日：令和5年1月29日（日）
場 所：金谷公民館みんくる 2階 集会室
内 容：子ども向けアニメーションの上映
定 員：30人程度
- (13) 読み聞かせボランティア講座
実施日：令和5年2月5日（日）（仮）
場 所：金谷公民館みんくる 2階 集会室
定 員：20人程度
内 容：初心者向け講座
講 師：静岡県子ども読書アドバイザー 小池千鶴氏（静岡おはなしの会）
- (14) 本の帯まつり
実施日：令和5年1月17日（火）～ 3月5日（日）
※募集は、6月14日（火）～12月28日（水）
場 所：島田図書館内
内 容：島田市の伝統行事である「帯まつり」になぞらえ、自作の「本の帯」を
募集し、島田図書館内で「本の帯まつり」と称して展示する。
※今回は、島田図書館移転開10周年記念事業の一つとして、優秀作品を表
彰する。
- (15) 島田図書館・金谷図書館LED化事業
島田図書館、金谷図書館の館内の蛍光灯を11月にLED照明に変更を予定している。
- (16) 金谷生涯学習センター「みんくる」修繕工事
工期：令和4年7月7日（木）～令和5年3月20日（月）
※ 11月14日（月）から21日（月）の金谷図書館休館期間中、図書館書架のフィルム工
事を実施する。併せて、上記LED工事を実施する。

安城市図書館情報館（愛知県安城市）視察報告

実施日：令和4年10月6日（木）

参加者：中谷稔会長、山本敬子副会長、山口すみえ委員、
大井喜子委員、大朋和裕委員、渡邊富士雄委員、
事務局6名

1 視察先の概要

安城市図書館情報館は、旧安城市中央図書館を移転し、平成29年度にJR安城駅近くに建設された中心市街地拠点施設「アンフォーレ」内に開館した。アンフォーレ内には、図書館の他、ホール、交流多目的スペース、証明・旅券センター、公園などの公共施設とカルチャースクールやスーパーマーケット、立体駐車場などの民間施設がある。

「Library of the year2022」優秀賞及び日本図書館協会建築賞受賞。

アンフォーレの施設整備及び管理運営はPFIで民間委託しているが、図書館の運営は直営で行っている。

安城市 人口 189,061人（令和3年度末）

市立図書館 安城市図書館情報館 1館

公民館図書室、子育て支援施設等のサービスポイント 13か所

安城市図書館情報館

- ・職員 74人（アンフォーレ課の職員のうち、図書館情報係、図書サービス係の人数）
 - 正規職員10人（うち司書資格保有者7人）
 - 再任用職員1人（うち司書資格保有者1人）
 - 会計年度任用職員63人（うち司書資格保有者34人）
- ・令和3年度末蔵書数 844,152冊
- ・令和3年度貸出人数（個人） 536,111人
- ・令和3年度貸出点数（個人） 1,957,182点

◇安城市図書館情報館の特徴

① 十進分類法にとられない独自の排架方法

全国の図書館で広く使われている日本十進分類法による排架だけでなく、「子育て」「ビジネス」など独自のジャンル分けでの排架も行い、利用者に興味がある本を多く見つけやすくしている。また、ティーンズ向け「らBooks」コーナーを作っている。

② 飲食や会話を原則自由としている。

交流や情報交換を活性化するために自由としている。ただし、コロナ流行以降は、食事は不可、飲み物のみ可としている。これによる大きなトラブルは今のところないとのことであった。

③ ICTを活用し、業務の効率化を図っている。

電子図書館、電子新聞、電子雑誌のほか、24時間利用可能な予約本受取機などを導入している。このことにより、比較的単純な貸出などの業務を省力化し、職員がレファレンスや利用者への案内などにより集中できるようにしている。

④ 学校図書館との連携を強化し、子ども読書を推進している。

- ・学校図書館とシステムを統合し、資料の検索を容易にしている。
- ・図書情報館内に学校図書館支援室を設置し、学校貸出専用図書2万冊を用意している。また図書館教育アドバイザー（校長OB）が常駐し、学校との連携を図っている。
- ・学校への配送を行い、学校図書定期配送便で学校の要望による本を届けているほか、学校図書館支援室が選んだ「朝読便」など20冊～40冊の本が3週間ごとに市内小中学校（学年ごと）にコンテナに入って届く。
- ・これらの取り組みを行ってから学校への貸出が約3倍増加した。

2 事前質問及び回答について

資料3-2のとおり

3 視察会場での質疑応答

質 問 PFI の図書館は、図書館運営もあわせて民間に委託しているケースがほとんどです。こちらの図書情報館の運営が直営なのは何か信念のようなものがあつたのでしょうか。

回 答 アンフォーレの構想を始めたころである平成15年からの現在の市長が就任し、現在5期目になります。図書館をつくるにあたり、市長自ら全国だけでなく韓国など海外にも視察に行っています。市長の思い入れも強く、市長の方針で直営となりました。また、職員からも直営で、と進言したと聞いています。

質 問 正規職員のうち、ほぼ全員が司書資格を持っているようですが、この職員は専門職ですか、それとも一般行政職で司書資格を持っている人ですか。

回 答 専門職としての採用は1名のみです。他の職員は、一般行政職です。人事部局に司書資格保有の職員を配属してもらうよう要望しています。また、今いる職員をできるだけ長く配属してもらうよう併せて要望しています。

質 問 公民館図書室の職員はアンフォーレ課の職員ですか。

回 答 公民館を所管している生涯学習課の職員、会計年度任用職員に公民館図書室の仕事をいただいています。

質 問 自動貸出機について、当市でも自動貸出機を設置しているが、使用率があまり高くありません。自動貸出機の使用をどのように促したのか教えてください。

回 答 安城市図書情報館では、自動貸出機の使用率は約85%です。詳しいことは分かりませんが、開館当初は機械の使い方を丁寧に説明したのではないかと思います。また、コロナ流行以降は人との接触を減らしたい方も多かったように思います。当館でも年配の方は、カウンターに来ることが多いです。

- 質問 駐車場について、無料分は市が負担しているのでしょうか。
- 回答 アンフォーレ内の立体駐車場（273 台駐車可能）は図書館で認証機を通すと 2 時間無料になります。立体駐車場を運営している民間の運営業者に、無料分の使用料として年間約 6,000 万円（200 台/273 台相当）支払っています。なお、敷地は市所有、建物は運営業者の所有ですが、20 年間この使用料を支払うと立体駐車場の建物の所有権が安城市に移る契約となっています。
- 質問 電子雑誌を導入された後も、紙の雑誌を購入していますか。
- 回答 今導入している電子雑誌だと、見られる雑誌が固定ではなく、月によって見られる雑誌が変わってしまうこともあるため、紙の雑誌も引き続き購入しています。
- 質問 電子新聞について、当市では紙の新聞を一人の人が独占していることがあり、予約制を検討しているのですが、2 台のモニターを順番制にするなどの対策はしていますか。
- 回答 利用者があまり多くはないこともあり、2 台でトラブルはありません。
- 質問 学校図書館の所管は図書館以外の教育委員会の部局だと思いますが、このような学校と図書館の連携がうまくいっている理由を教えてください。
- 回答 学校図書館の図書館支援員と図書館司書の間に「図書館教育アドバイザー」がいて、連絡調整をしてくれています。校長 OB に就任していただいています。この方がいなければ、学校との連絡調整は不可能だと考えるほど非常に重要な役割を担っていただいています。
- 質問 図書館教育アドバイザーは図書館での雇用ですか。また、正規職員としての雇用ですか。
- 回答 学校教育課で会計年度任用職員として任用しています。1 名です。
- 質問 学校図書館支援員は各学校に 1 人ずつ配置されていますか。
- 回答 はい、今は各学校 1 人配置されています。
- 質問 配送をしている車は図書館所有のものですか。また配送はどなたがされていますか。
- 回答 車は図書館で 2 台所有しています。運転はシルバー人材センターに依頼しています。
- 質問 図書館に学校支援の担当者は何人いらっしゃいますか。
- 回答 正規職員は 1 名、会計年度任用職員が 3～4 名です。全員学校支援以外の業務も兼務しています。
- 質問 2 点教えてください。1 点目は、休館日は月曜日としている図書館が多いなか、火曜日を休館日としている理由を教えてください。
- 2 点目は、修繕や施設管理については全て民間の委託業者が行っているのでしょうか。市で行っていることはありますか。

- 回 答 休館日は移転開館時の詳しい経緯は分かりませんが、公民館図書室や隣の岡崎市の図書館が月曜日休館なので、お休みをずらして火曜日にして毎日どこかの図書館を利用できるように配慮したのだと思います。
- 修繕などの維持管理は PFI で委託した民間業者が委託予算の範囲内で行っています。ただ、仕様書に含まれていない修繕が必要となる場合が例外的にあり、やむを得ず市で修繕することもあります。市で修繕予算を若干確保しています。
- 質 問 ボランティア養成講座を受け、読み聞かせボランティアグループに入会した方はどのくらいいますか。
- 回 答 多くはありませんが、年に何名かはいらっしゃいます。

1 指定管理者との関係について

図書館業務について指定管理者への委託をせずに、直営となった経過と理由を教えてください。

また、当市にある3館の図書館のうち金谷図書館が令和4年度から貴施設と同じように、施設管理はPFI、図書館運営は市直営となる予定です。施設管理がPFIとなったことで困ったことや工夫していることがあれば教えてください。

回答)

平成11年度から平成20年度まで、民間業者に受付・排架・配本業務を委託していました。平成21年度から直接雇用に変更、平成29年度の案フォーレ開館時にも再検討したようですが、下記の理由などから直接雇用としました。現在、配本業務はシルバー人材センターの派遣、会計年度任用職員は受付・排架の他、おはなし会や装備など様々な業務を行っています。

- ・民間経営で利益を生み出すには人件費を削るしかない。
- ・地域特性や住民ニーズを把握した体系的な選書には専門職員による継続性が必要である。
- ・児童サービスやレファレンスサービスなど図書館サービスの根幹は、継続した専門職員のスキルにゆだねられているところが多い。
- ・今後の図書館サービスの展開には、市民との協働や他部局、関係機関との連携が不可欠である。

〈困ったこと〉

- ・什器はPFIでの導入だったため、実際に使ってみたところ使いにくいものだった場合でも、取り換えができない。(例：雑誌架、大型の踏み台)

2 職員体制について

職員数及び非正規職員の勤務体制はどのようになっていますか。

(参考)

島田図書館	正規職員	10人	会計年度任用職員	20人
金谷図書館	正規職員	5人	会計年度任用職員	8人
川根図書館	正規職員	2人	会計年度任用職員	3人

島田市では会計年度任用職員は週30時間 祝日は勤務の場合代休

回答) 安城市図書情報館の概要P2をご覧ください。

会計年度任用職員は10月1日現在で、週5日勤務が38人、週3勤務が10人、週2日が18人です。

平日が約40人、土日祝日が約30人の体制で、うち夜間の時差出勤が約15人です。

3 施設について

- ① 会話と飲食可能となっていますが、トラブルはありませんか。

回答) 大きなトラブルはありません。

② 自動貸出機等について、次の点を教えてください。

- ・貸出機・返却機の台数及び稼働率

回答) 設置台数は館内に 12 台、貸出冊数は、貸出総数 1,184,113 冊中 1,000,627 冊で 85.3%の利用率になります。

- ・利点・欠点

回答) 貸出業務をセルフ化したことによって、その分の労力を人的サービスに振り分けました。今まではカウンターに来る利用者の中に目が行きがちでしたが、フロアでは積極的に利用者に声を掛けるなど、きめ細かなレファレンスサービスや、読書推進活動推進などの業務を行っています。

<欠点>

- ・利用者との対面でのやり取りが必須ではなくなったため、利用者に伝えたいことがあっても、上手く伝達できないことがある。(例：予約本が取り置き期限切れキャンセルの連絡、住所・電話登録変更しない利用者への対応)

③ 24 時間予約受取機について、次の点を教えてください。

- ・仕組み

回答)

- 1) 利用者は、資料の予約時に受取館を「予約受取機」を指定する。
- 2) 図書情報館は、「予約受取機」に指定された資料をセットする。
- 3) セット完了後、利用者にメール送信される。
- 4) 利用者は、受取機を操作して予約資料を受け取る。

- ・利点・欠点

回答)

- 1) 早朝夜間・休館日など図書情報館の開館時間に予約受取ができない利用者の都合に合わせた資料の受け取りができる。
- 2) 対面での受け取りを避けることができる。
- 3) 受取可能な資料のサイズに制限がある。
- 4) 機器エラーなどトラブルが起きる。

- ・②③の導入により人の削減等はあったか

回答) ②の回答と同じ

④ 駐車場について、次の点を教えてください。

- ・駐車可能台数及び料金

(参考) 島田図書館 無料駐車場はなし、認証機使用で 30 分は無料。

図書等を借りれば 1 時間分の民間駐車場の無料のチケット配布。

回答) 図書情報館を利用した場合、駐車場入庫から 2 時間無料、以降 30 分毎に 100 円 (無料時間は利用施設によって異なります。)

4 配架方法について

貴館の10進分類法にとらわれないジャンル別配架やティーンズ向け「ら Books」コーナーについて教えてください。

回答)

館内の多くをジャンル別で排架しています。NDCに準拠しつつ、休館での利用傾向やアンフォーレで想定される利用者像を考え、13の独自ジャンルを設置し、分類番号ではなくジャンル名で図書を探せるように工夫しました。例えば、レシピ本や栄養学、食文化、飲食店経営を「料理：C」としてまとめたり、2階子どものフロア内に絵本、児童書と並んで子育て・教育の本を並べたりと、だれもが直感的に利用できる排架を構築しました。

特にこだわったのは、中高生をメインターゲットとした「らBOOKS」です。YAや各分野の入門書、歴代ベストセラーや進路・就職など、6つのジャンルで構成したコーナーを、3階の中央に設置しました。児童書を卒業した中学生、テスト勉強で足を運ぶ高校生、そして図書館に馴染みのなかった大人に向け「図書館初心者の入り口」となるよう、司書が図書を厳選しました。

5 電子図書館について

① 電子図書館について、次の点を教えてください。

・導入時経費

回答) 330万円(税抜)(プロポーザル)

・利用状況

回答) 7,325点(R3年度延貸出数)

・利点・欠点

回答) 利点：新型コロナウイルス感染拡大状況下での図書館情報館非来館型の利用に活用できる。

欠点：貸出数・利用者数がなかなか伸びない。

・紙の本との予算関係(年間図書購入費とは別枠で予算が確保されたか)

回答) 別枠で予算確保

② 電子雑誌について、次の点を教えてください。

・利用方法

回答) 安城市電子図書館のサイトから「TRC-DLマガジン」にアクセスする。

・費用

回答) 66万円(税込)

・利点・欠点

回答) 利点：新型コロナウイルス感染拡大状況下での図書館情報館非来館型の利用に活用できる。

欠点：貸出数・利用者数がなかなか伸びない。

・バックナンバーを配信する仕組み

回答) 週刊誌の場合1年以上、その他の月刊誌などは3年以上が設定されている。

- ・統計方法

回答) 統計管理機能で集計可能

- ③ 電子新聞について、次の点を教えてください。

- ・利用方法

回答) 32 インチのタッチモニターで、新聞記事（朝日・毎日・日経・産経・安城ホームニュース）を自由に拡大してみることができる。令和3年度機器更新時に、車いすの方も利用しやすいように改修を行った。

- ・利点・欠点

回答) 利点：新聞記事を自由に拡大してみることができる。

欠点：特になし

- ・費用

回答) 362,152 円

6 学校支援について

- ① 学校への配送方法や頻度を教えてください。

回答) 別紙を参照してください。【「学校図書館」2020.8】

- ② 学校が「朝の読書用読み物」や授業で活用する「テーマ本」がセットで借りられるとのことですが、詳しく教えてください。

回答) 別紙を参照してください。【「学校図書館」2020.8】

7 その他

- ① 利用者に対しての利用制限の詳細を定めた要綱等を作成していますか。

回答) 図書館資料の紛失や汚破損などは「安城市図書館資料の損害賠償に関する館内規約」で取り扱いを規定しています。施設の利用制限に関する要綱等はありません。

- ② ボランティア向け講座の実施回数や内容を教えてください。

回答)

- ・ボランティアスキルアップ講座

絵本の読み聞かせの実技指導と質疑応答

同内容を3回に分けて実施

- ・読み聞かせボランティア養成講座

図書情報館に登録している既存の読み聞かせグループに入会するボランティアを養成します。

全9回の講座

- ・学校（園）ボランティアのための読み聞かせ講座、本の補修講座

図書情報館を会場として、園や学校単位の依頼に応じて随時実施

意見・感想 1

図書館を含む総合施設 1・2・3・4 階吹き抜けで本のフロアが分かれ広く見やすくなっています。館内はとても明るい。

① 貸出しの設備について

自動貸出機で手続きをし、自ら本を選び借りることができます。館外からも 24 時間受取可能。

② JA とのコラボのコーナーについて

地場産の野菜や米等の紹介を兼ねて本の紹介をし、生活に密着しています。レシピのチラシも有り主婦の方々が手に取り調理する。次につなげていることが分かりました。

③ 学校図書館について

独自の本が有ります。未来の安城市を担う子供達に力を入れていると思い、視察後のバスの中から帰宅中の子供達を見て声援したくなりました。

④ 休館日について

近隣の施設と同じ日にしない事でいつでも、どこに行っても本を楽しめます。

⑤ アドバイザーについて

予約制らしいですが、いろいろなジャンルのアドバイザーがいらして、相談でき、本の紹介もして下さるようです。その道を導く人がいらっしやれば、先が見えて来ます。

⑥ またまた、最後に 120 年位前の「南吉ピアノ」に巡り合い感激しました。良い 1 日を有り難うございました。

意見・感想 2

昨年度は県内 2 箇所の図書館を視察し、今年度は県外（隣県の愛知県）の図書施設を視察させていただきました。ありがとうございました。コロナ禍で視察が中止される年もあるなか今回県の外に出て、安城市の「アンフォーレ」を見ることによって見聞を広めることの大切や価値を知ることができました。

「アンフォーレ」については、施設のすばらしさにただただ圧倒されるばかりでした。詳しい説明を聞くなかで、病院の跡地を市民のためにどう整備、活用するかの議論が長い時間をかけてされたことが、あのような形となって花開いたのだと感じました。短い時間で施設内を見学する中で市長の肝煎りという言葉の意味がよくわかりました。

市民の生涯学習に資する素晴らしい図書情報環境だと思いました。

意見・感想 3

恵まれた財政力の裏付けによるとても刺激的な施設でした。よく考えられた書架構成、色、サイン、図書館でありながらブティックやおしゃれな雑貨店のようなセンスの良さが感じられました。今回の視察で参考にできるもの、取り入れるべきものは、ハードではなくソフトにあると思います。市内学校図書館とのデータの統合、共有、支援室による市内学校へのサービス。市内 10 ヶ所以上の公民館図書室とのネットワーク等、島田でも可能なこと、取り組めることはあります。

図書館を含む複合施設をPFI手法で整備する際、図書館のみを市直営とすることは極めて異例です。このことからわかるように、島田と安城の際立った差異は財政力のみにとどまらず、行政の図書館に対する理解、意識の違い、取組度の違い。

そんなことが痛感された視察でした。

意見・感想4

10年以上かけての議論は、安城市の図書館に対する思い入れの強さの現れであると痛感した。ハード面のみならず、ソフト面においても、かなりの議論を積み重ねたことが窺えた。その成果が、まさに学校教育課との連携だったり、電子図書館、予約図書24時間受け取りシステムであったりと、細部にわたって市民のための図書館活用につながっていることに感動した。

また、「図書館教育アドバイザー」という存在を知り、本市においても早急に検討して頂きたいと思った。

1階にはマルシェがあり温かな空気感と気軽に立ち寄れる雰囲気であった。

2階から4階まで、ニーズの棲み分けができており、車椅子の方も気軽に図書館を使われていた。また書架の黒は、本が引き立つようにも感じた。パンフレットをそれだけで置かず、パンフレットと関連のある本もさりげなく置くレイアウトや、農協とコラボして季節の農産物も置くなど、様々なアイデアが活用されており日々変化し、進化する図書館であると感じた。

個人的には、新美南吉のコーナーは、大変魅力的だった。

意見・感想5

令和4年(2022年)10月6日(木)安城市図書情報館「アンフォーレ」を見学させて頂きました。H15年から5期連続で続いている安城市市長の思い入れがあり予算確保もできているとの事、長期政権の利点が結実した恵まれた図書館だと感じました。

「アンフォーレ」は土地利用について10年かけて議論されて完成した施設とお伺いし、図書館機能の他にホール、カフェ、スーパーマーケット、立体駐車場、広場と利用者の様々な希望が取り入れられているのが素晴らしいです。

また、安城市内の小中学校の学校図書館と公共図書館システム(団体貸出用図書2万冊)が連携され検索可能となっていることに驚きました。

全小中学校29校に週2回定期配送が実施され、配送内容も「朝読便」「テーマ便」「キーぼ一便」と学校図書館要望に加えて生徒個人のリクエストには公共図書館(約75万点)が利用できるシステムとなっているのに感心しました。

ただ元教職経験者の「図書館教育アドバイザー」の存在が大きいとお話を聞き、重要な役割だけにこれから継続する方を育成していくのが大変そうだと感じました。

この他、良いと感じた点、羨ましい点を以下にまとめました。

① 24時間自動貸出機

⇒予約本をセットしたら利用者にメール連絡が行き、利用者が受取機を操作して資料を受け取るシステムが5年前に完成されているのに驚きました。

② 大判プリンターや3Dプリンター等の設備が充実していた事。

⇒B0判まで印刷可能なプリンターが利用できるのは羨ましいです。

③ リユース本コーナー

⇒島田市立図書館では除籍本をリサイクル本として一定期間に配布していますが、常時リユース本コーナーを設置して自由に持ち帰ることができる方が効率が良いように思いました。

④ 貸出期間が、借りた日を含めて 15 日間。

⇒島田市近辺の図書館の貸出期間は 2 週間が多く来訪曜日が固定されがち。

(最後に)

安城市図書情報館の利用者カードは誰でも作成できるので、登録させて頂きました。

その後メールアドレスを登録すると 3～4 日おきに新着情報が届き書誌情報のリンクも付いており、これから借りたい本の参考に使っています。

今回、書架をゆっくり見る余裕が無かったので、機会を作って再訪したいと思っています。

昨年と同じになりますが、個人的に各地の図書館を訪問するのが好きなので、普段訪れる機会が無い図書館に行くことが出来て嬉しかったです。ありがとうございました。

意見・感想 6

大変有意義な視察でありました。

以下、感想を述べさせていただきます。

①建物について

病院の跡地、駅のそばという立地条件。構想に 10 年かけたという複合施設 だけあって、素晴らしいものでありました。

市政と図書館のつながりの濃さが見えました。

市政の中心にアンフォーレがあり、アンフォーレが市民のフィールドになっていることを肌で感じました。足を運びやすく、各年齢層に活用しやすいように工夫された図書館でした。名前も、『図書情報館』秘められた思いがうかがわれます。

②図書情報館

- ・自動貸出機や蔵書検索機、予約本コーナー、予約本受取機、読書通帳機など利用者が主体となって活用できるシステムになっている。その分図書館職員は必要なところにサービスの手を広げ、さらに利用者が恩恵を受けることができる状態になっている。良いスパイラルが継続している。
- ・各階特徴ある配置配架で利用しやすい。 子供フロア、暮らしのフロア、学問と芸術のフロア
- ・子供も高校性も大人もどの年齢の人もサービスが受けられる体制ができています。
- ・学習室や閲覧コーナーなど個々が活字とゆったり向き合う場が確保されている。
- ・配架の工夫：ジャンル別、「らブック」、南吉の部屋、でんでんむしのへやなど魅力がいっぱい。
- ・個人学習室や「でん」がたくさんある。
- ・新見南吉の絵本や南吉ノートという出版物もある。ブックスタートのプレゼントにもなっている。

郷土の偉人を大事にし、大きな柱にしているところも素晴らしい。

③学校図書館支援サービス

5 階にある学校図書館支援室を見せていただいて感激しました。

ア 学校図書館用に配架された書籍、20000 冊。

図書館定期配送便（朝読便・テーマ便・キーボー便）用に組まれたコンテナ。

予算 〇〇万円

イ 各学校に確実に届ける物流ネットワーク 配送便

ウ 図書館支援システムの連携：学校図書館データと市立図書館のデータの連携

エ 図書館教育アドバイザーの常駐：学校図書館支援の key パーソン。

④今後に生かす

いろいろな点で参考になることがたくさんあった視察でした。学校現場に身を置くものとして、学校図書館支援サービスという点ではぜひ実現してほしいと思うことがあります。

上記③のアイウエの4項目は、どれ一つ欠けても、スムーズな効果的な運営はできないと思います。すべてに力を入れている安城市に脱帽です。島田市でもこれまでに、努力していただきかなり学校図書館は市立図書館の恩恵を受けてきました。学校からの要望に応えるべき尽力してくださっています。ただ、GIGA 構想で、タブレットを使うようになった今、さらなる一歩を進めなければいけないという逼迫感に襲われています。

タブレットに触れる時間の増加＝書籍に触れる時間の減少。

ノート代わりに、必要な時にすぐタブレットで検索する状況ができています。

読書の時間は、全員が本を読みます。限られた学校図書館の本だけでなく市立図書館からセレクトされた物が定期的に入れ替えて届けられるようになれば、子供たちの読書の質は高まります。読書量も増えます。子供と本をつなぐことができれば本が好きになります。

読書の時間を設定している学校が減ってきているとの情報もあります。今まさに必要なサービスではないでしょうか。

学校への定期便、本の朝読便は是非取り入れたい。

学校現場のことを分かっている方が図書館と学校をつないでくれるという流れは鬼に金棒です。学校年間指導計画があればその時々適切な本もセレクトできると思います。

タブレット端末を日に日に扱うことがうまくなる子供達。

検索の仕方もどんどん覚えていくが、やはり、書籍資料から得る情報の確かさはかなわないと思う。どちらも使える子供達を育てたい。

場と物と空間を設定することで子供達のみならず人は変わる。

過度期の今、いかに環境を整備するかが要であると思う。

良い手本を見せていただいたので、島田市でも取り組めることは躊躇せず進めていきたい。

学校現場は、学校の統合という大きな波の中でうごめいています。北部4校の統廃合に関わり、学校現場は、物の廃棄・移動について計画的に進めています。

学校図書館の蔵書はどの学校も充実させてきたので、たくさんある。

自分の学校は、市立図書館の司書さんにきていただき、廃棄する本を選書していただいたので、2000冊の廃棄のゴールが近づいている。だが、学校によっては、それができていない。管理職の意識の高さ・温度差によると思われるが、学校図書館支援員さんの手に負えない部分である。

1小への統合まで1年半。その間にやるべきことが、たくさんあるが、学校図書館の蔵書については優先順位が低く、まだ現実的になっていない感がある。行政と学校と図書館をつなぐ絆がより堅固なものになることを願っています。

意見・感想 7

情報館の名のとおりにDX化しており、貸出、返却、予約受取りなど人を介さずに行うことによりカウンター業務の負担を減らし、その分をフローサービスに力を入れるなど、単に業務を効率化し人員削減を図るのではなく必要なところに人員を充てる施策は見習わなければならないと思いました。また電子図書館や電子新聞、電子雑誌など先進的な取組みについてはまだ、過渡期のような印象を受けましたが、将来的には主流になるため、今後も状況をお聞きしたいと思います。

学校支援については、図書館教育アドバイザーという元教員の存在が大きく、学校と図書館のコーディネートが重要だと分かりました。また、ジャンル別配架など書店などに見かける配列や他課との連携など工夫がされており、参考となるものが沢山あったため、館内を見る時間がもう少しあればと思いました。

意見・感想 8

市長の図書館への強い思い入れがあり、指定管理者へ委託せず直営としたとのことで、図書購入費を初め、必要な予算が確保されており、施設・サービス・職員（正規職員8名中7名、サービス係会計年度任用職員62名中、34名が司書資格あり）のどれをとっても納得のいく素晴らしい図書館だと感じました。

学校との連携においても、平成29年度から公立図書館と各学校図書館の書誌データが統合されていることや、教育テーマに沿った調べ学習専用の本を確保しており、「図書定期配送便」で週2回、2台の車で全小中学校29校に配送していること、全校に学校司書を配置し、図書情報館に「図書館教育アドバイザー」（元学校長）が常駐し、学校との連携をより強化していることなど、理想的な連携が行われており、うらやましい限りでした。

気になった点としては、1階が交流多目的スペースで吹き抜けの天井となっているせいか、図書館としての環境面において、少し騒がしいのではと感じました。

施設や予算の規模などは、島田図書館とは大きな差はありましたが、図書館の運営体制や学校・地域との連携など学ぶべき点が多く、今後の参考になりました。

—メモ—

駐車場 273 台あり 新美南吉さんの絵本がたくさんある（グッズもあり）

電子図書・電子雑誌が充実 予約本が 24 時間受取可能

本の特集企画では、農協と連携して実施

意見・感想 9

図書館業務を指定管理者への委託とせず直営とした背景に、市長の思いや当時の職員の熱意があったことが、この施設を見て感じられました。現在、図書館正規職員8名中7名、サービス係会計年度任用職員62名中、34名が司書資格を有し、図書館を運営していることもその流れを受け継いでいると思いました。

事業も素晴らしいものがいろいろとありましたが、平成29年度から学校図書館連携事業を開始、配送車巡回、「図書館教室アドバイザー」の配置などにより、大幅に利用を増加させたのは特に素晴らしい事業だと感じました。それに加え、年間約650万円の予算で電子図書、電子雑誌、電子新聞が利用できるような新たな取組を行って進化しています。

予算措置など島田図書館とは大きな違いがあると感じましたが、運営体制や学校支援など、学ぶべき点はあったと思います。少しでも、島田に取り入れることができればと思いました。

意見・感想 10

アンフォーレの施設内に入ると、証明・旅券の窓口がありエントランスでは様々な展示・出店（物販、占い等）がされていた。2階からの図書情報館には、子育て教室や会議室・スタジオもあり、子連れ世帯・中高生等の若い利用者も多かった。

職員から、事前の質問事項への回答、予約受取機（24 時間利用可の機器もあり）や学校との連携等について説明・案内を受けた。病院跡地の利用方法検討から今日に至るまで、様々な課題・苦労もあったと思う。貸出し業務の無人化によって削減された人的資源をレファレンスサービス、読書活動推進に振り分けた点に取り組み姿勢が表れていると感じた。

ハード面で同じようにするのは困難な点も多いが、考え方（利用者目線の運用、日々の接遇）は見習うことができる点があると思った。

意見・感想 11

安城市では過去に中央図書館を 10 年間民間委託した時期があり、アンフォーレ開館時はその時の反省から直営雇用に戻したというお話をお聞きし、やはり図書館業務は地域や住民のニーズを把握した職員が専門的・継続的に行っていくべきものなのだと痛感した。

アンフォーレは現在在職 5 期目の市長肝いりの施設であり、構想に 10 年の歳月を費やし、62 億もの予算で建設されたとのことで（ここを視察したところで羨望の眼差しで眺めるだけに留まり、島田市に取り入れることができる部分はなかろうと、半ば絶望的な思いで見学し始めたが、設備以外の図書館サービス面では参考になることが多く実り多い一日となった。

図書館部分が 3 フロアあり、単に一般書・児童書に分けるのではなく、「子どものフロア」「暮らしのフロア」「学問と芸術のフロア」という分け方をしていた点からは、分類別の書架配置とは別に、特集や展示コーナーを新たに設ける際のヒントを得た。

また、学校との連携については、図書定期配送便があり「朝読書用」「調べ学習用」など学校貸出専用に登録した資料を定期的に配送しているという何とも羨ましい取り組みが紹介された。

そして学校図書館支援室には、定期配送便業務に携わる専門職員や「図書館教育アドバイザー」が常駐しているということで、図書館と学校が深く結び付き、子ども達の読書活動支援に力を入れていることが伺えた。島田市内の学校からもこういった要望は毎年出されているが、このシステムが導入される日はいつのなるのだろうか。

<追記>

2013 年、2018 年に購入登録した新美南吉の絵本「二ひきのかえる」「かにのしょうばい」が安城市立図書館発行であることは承知していたが、アンフォーレがその図書館であり、その 2 冊の絵本が安城市の記念事業・新美南吉生誕記念として行われた「第 1 回新美南吉絵本大賞」「第 2 回新美南吉絵本大賞」受賞作品であることを改めて知り、貴重な資料であると認識した。

意見・感想 12

複合施設としてにぎわっていること、駅前でありながら駐車場も市の予算で 2 時間の無料駐車

ができることなど羨ましい点が多かったです。

島田市でも取り入れたいと思ったのは、学校図書館との連携方法でした。システムを連携させるだけでなく、「図書館教育アドバイザー」など学校と図書館をつなげる人の配置や育成といったソフト面も不可欠であり、専門知識を持った職員が長く担っていくことが必要である改めて感じました。